

貧困児童と向き合う「教育者」とは、  
どのような存在でありうるのか……。

かつて「貧困児童」であった者が自ら問い直す稀有の記録！  
本書は、作家 添田知道が遺した『小説 教育者』執筆のための「取材ノート」の  
翻刻とその解題を通して、その主な舞台であった万年尋常小学校と  
坂本龍之輔の活動の実態を正面から探った、別役厚子氏の遺稿集！

「取材ノート」とは、添田知道（一九〇二～一九八〇）が自らの出身小学校の校長坂本龍之輔（一八七〇～一九四二）に取材して小説を描こうとした際の、坂本からの直接の聞き取り記録を中心とするノートのことである。添田の代表作『小説 教育者』は、一九四二年五月から四六年七月にかけて出版され、その後復刊も度々なされている小説である。著者の、四年にわたる歳月を費やして行われた取材ノートの翻刻と、「特殊小学校」の実践の歴史的な性格の解明によって、添田の執筆の背景や、苦悩と葛藤に満ちた坂本と添田の対話に迫る渾身の書である！

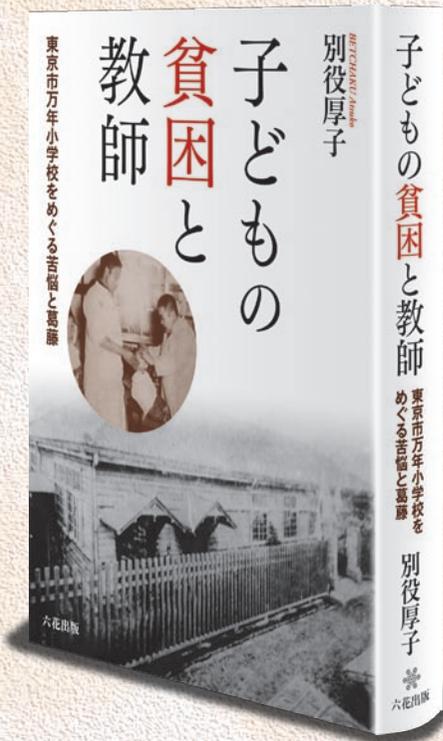
別役厚子 *BETCHAKU Asuko*

# 子どもの

# 貧困と

# 教師

東京市万年小学校をめぐる苦悩と葛藤



2019年  
2月刊行!

A5判／上製／408ページ／定価3,800円+税  
ISBN978-4-86617-076-3

……彼女は修論では教師坂本龍之輔と万年小学校での実践分析、博論では救貧政策と charity school の問題に取り組んだが、共通する問題意識は貧困問題と子どもと教育の問題だったといえよう。エジンバラでの博士論文にも共通する問題意識であり、帰国後は救貧政策・教育政策の関係に子ども観・子ども史を重ねての比較研究を考えていた。これからが楽しみだっただけに、残念である。

その死を悼んで、多くの友人たちが偲ぶ会に集まり、その時、別役さんの遺稿集を作ろうという意見がだされ、編集委員会ができて、遺稿の整理の作業がはじまった。ようやく発行に至ったこと、別役さんも喜んでくださることと念じればかりである。

二〇一八・二・二八 パリにて ……「はしがき」より

堀尾輝久（東京大学名誉教授・元民主教育研究所代表）

……この翻刻作業によって明らかになった詳細な史実は、まさに歴史における教育実践の分析・評価にとって人間理解の繊細さと歴史・社会への洞察とがどれほど必要かを語っている。彼女は手記の翻刻公刊を通じて、また詳細な解題によって、こうした課題を学界共有のものにしてくれた。

坂本の言葉だけでなくそれを聞き取った添田の「手記」の文章を、別役さん自身がどう読みどう感じ取ったかを知りたい人のためには、彼女による丹念な「解題」の中に多くの示唆が含まれている。もちろん彼女にとって解題の記述はまだまた感懐の一部を記しただけのものであろう。しかしノートの唯一の精読者であり記録者でありさらに『小説 教育者』の読者だった彼女は、惜しくも早々と世を去ってしまった。答えは、それこそ、この共有の「手記」に接し、また『小説 教育者』も読まれるであろう現代の読者に委ねられている。

……「まえがき」より

寺崎昌男（東京大学・桜美林大学・立教大学名誉教授）



六花出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-28 電話03-3293-8787 ファクシミリ03-3293-8788 <http://rikka-press.jp> e-mail: info@rikka-press.jp

はしがき―別役さんの横顔(堀尾輝久)  
まえがき―教育実践研究への遺産(寺崎昌男)  
I 添田知道『小説教育者・取材ノート』を読む

- 1 『小説教育者・取材ノート』解題
  - 一 添田知道の遺した『取材ノート』―全体の解題
  - 二 『取材ノート』に託されたもの
  - 三 「子供の権利」に託されたもの―『取材ノート5』の解題
  - 四 『取材ノート6』の解題
  - 五 『取材ノート7』の解題
  - 六 敗戦が小説執筆にもたらしたもの―『取材ノート8』の解題を含んで
  - 七 添田の中の「貧民窟」―「どん底の顔」が語るもの

2 『小説教育者・取材ノート』翻刻

『取材ノート5』／『取材ノート6』／『取材ノート7』／『取材ノート8』／『取材ノート9』

II 万年尋常小学校と坂本龍之輔

- 1 東京市「特殊小学校」の設立過程の検討―地域との葛藤に視点をあててはじめに
  - I 学政統一論の中の東京市と各区の対立
  - II 東京市教育会の東京市把握と「貧民」への視線
  - III 区内既設学校との葛藤・対決としての「特殊小」の設立―下谷区の場合
- 2 東京市万年尋常小学校における坂本龍之輔の学校経営と教育観
  - I 「特殊小学校」の設立背景
  - II 万年小学校における坂本の実践

はじめに  
おわりに

別役厚子博士学位論文・目次と概要(概要翻訳)

「存在証明」としての学問―解説に代えて(駒込 武)

別役厚子年譜・著作一覧

編集後記(川村 肇)／人名索引

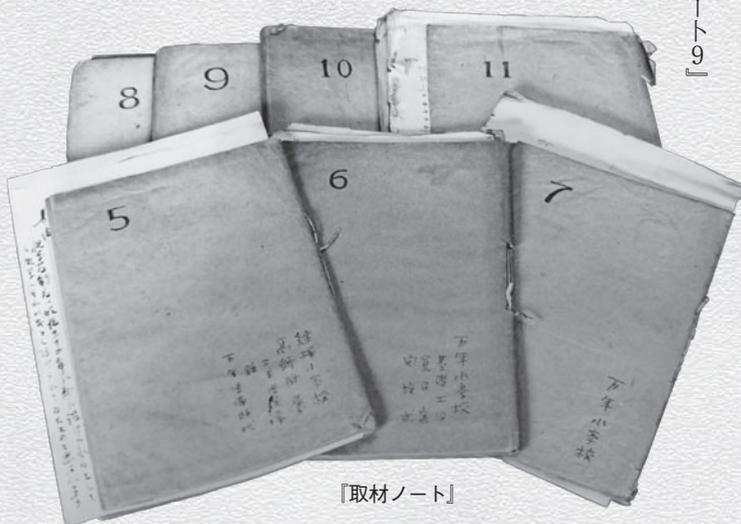
別役厚子(べっちゃんく・あつこ)

- 一九六〇年 高知県に生まれる
- 一九七八年 高知大学教育学部入学
- 一九八三年 東京大学大学院教育学研究科修士課程入学
- 一九八六年 教育学修士号取得、博士課程進学
- 一九九二年 高知短期大学に助教として赴任、教職課程等担当
- 一九九六年 英国渡航、エジンバラ大学に海外研修
- 一九九七年 高知短期大学退職、エジンバラ大学大学院入学、歴史学専攻
- 二〇〇六年 エジンバラ大学博士學位取得
- 二〇〇八年 英国永住権取得
- 二〇一七年 エジンバラにて病没



坂本龍之輔

※写真は全て県立神奈川近代文学館提供



『取材ノート』



添田知道

注文カード

帖合・貴店名

（八木書店経由）

注文数

冊  
発行 六花出版 著 別役厚子

**子どもの貧困と教師**

東京市万年小学校をめぐる苦悩と葛藤

定価 ● 本体三、八〇〇円＋税

ISBN978-4-86617-076-3

お名前

お電話番号

注文 年 月 日

●弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください。  
お急ぎの場合は小社に直接ご連絡ください。電話03(3263)8787

Fax03(3263)8788

電子メール info@rikka-press.jp